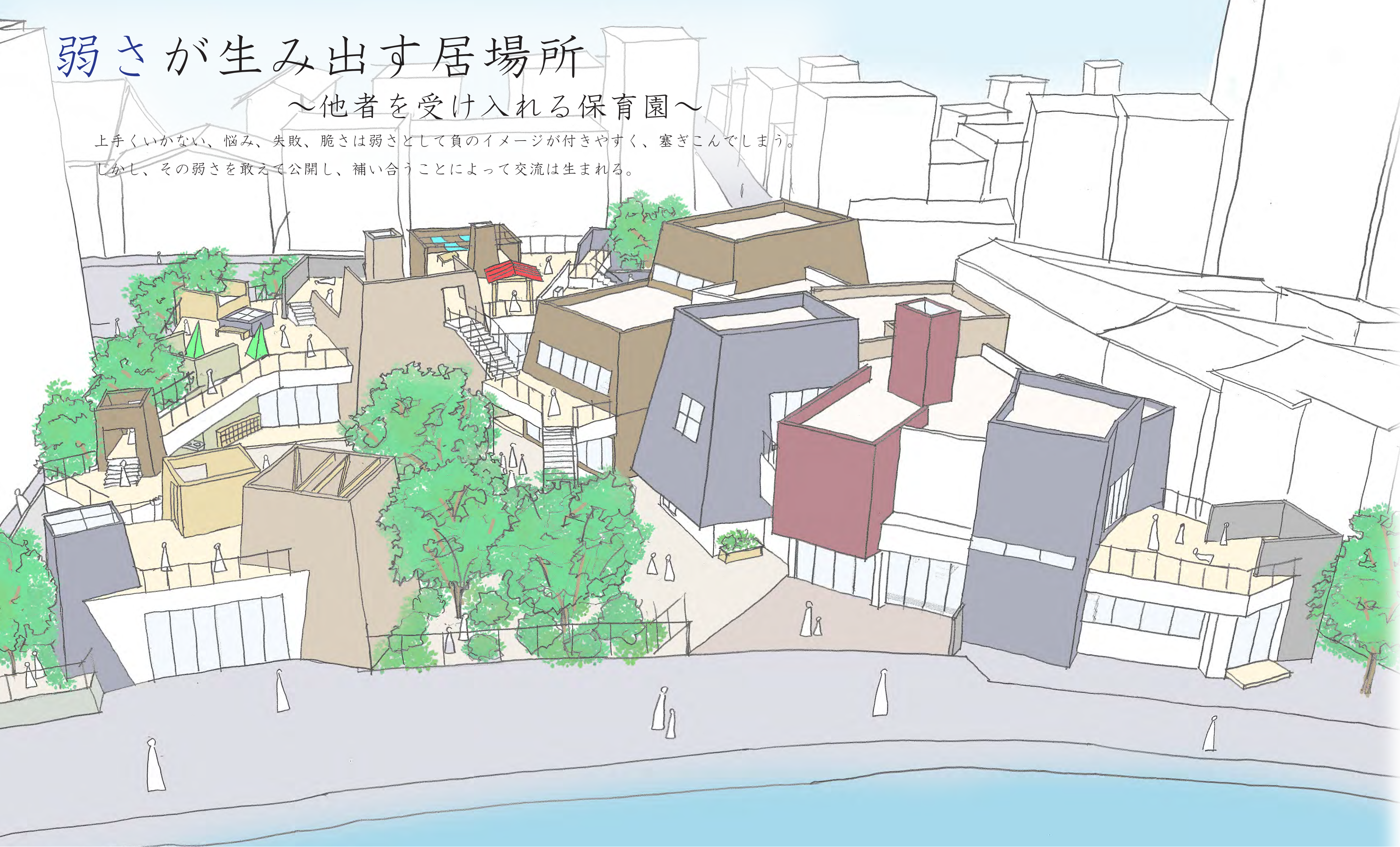


弱さが生み出す居場所

～他者を受け入れる保育園～

上手くいかない、悩み、失敗、脆さは弱さとして負のイメージが付きやすく、塞ぎこんでしまう。
しかし、その弱さを敢えて公開し、補い合うことによって交流は生まれる。



01 背景

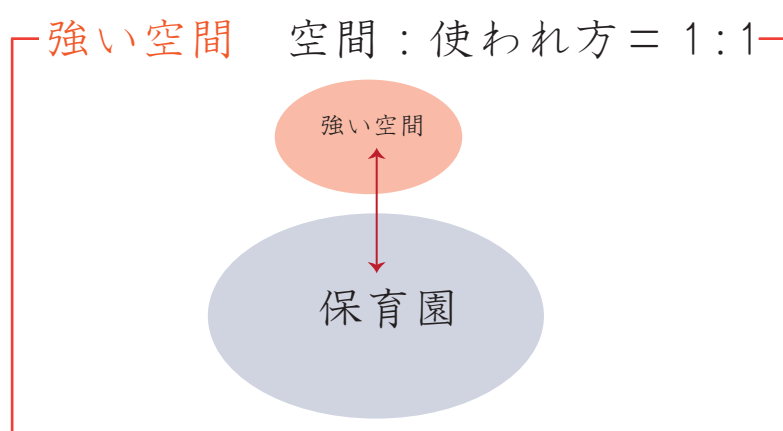
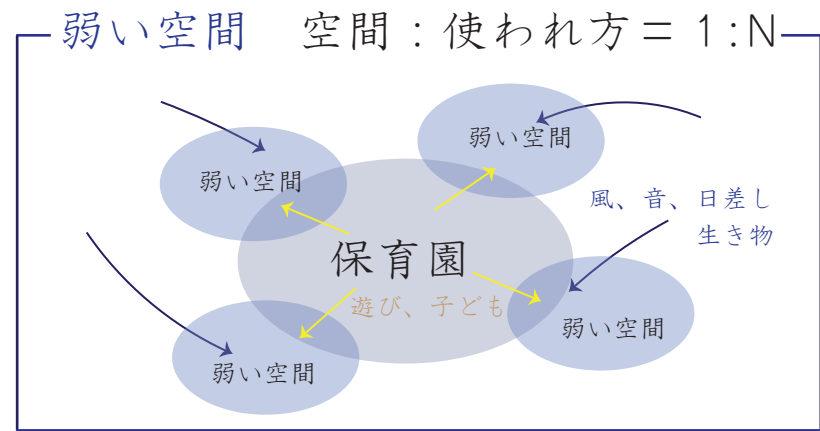
保育園は家族以外の他者と最も早い段階で関わり、**社会性を身に着けるあそび場**である。しかし、近年挙げられるあそび場の減少は、自分や他者に対しての**弱さを受けとるあそび**の機会の減少と同義であると考える。その弱さに触れる機会を提供し、受け入れる力を育むことが今の保育園には必要だと考える。

02 対象敷地



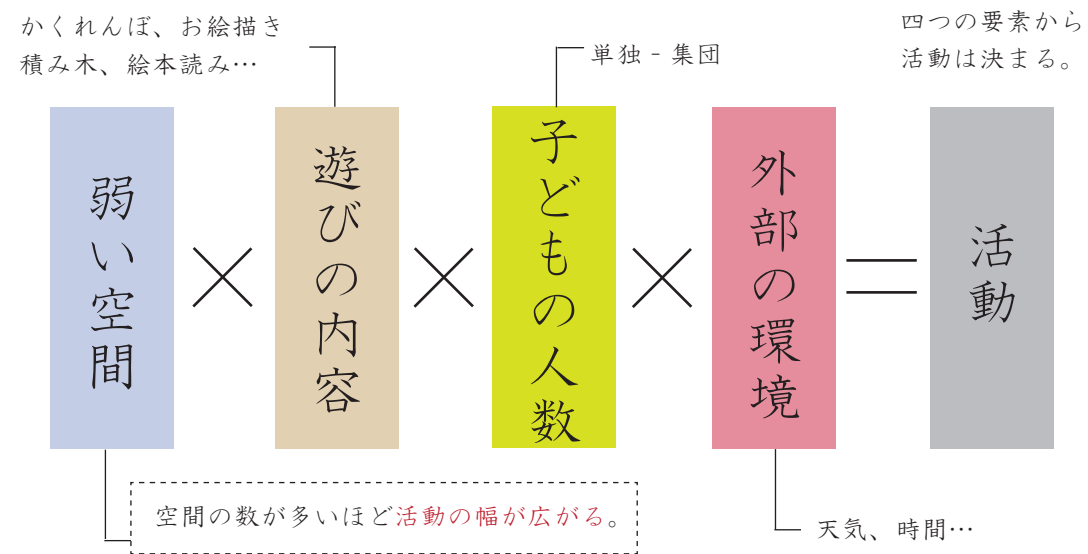
敷地は、京都市下京区の高瀬川沿い。西に河原町通、東に高瀬川を挟むような敷地となっているため交通量、人の通り共に対照的で、**変化に富む環境**となっている。

03 弱い空間と強い空間



弱い空間とは、**他者を受け入れる場**として機能し、使われ方が複数個存在する。外部からは風や日光といった環境を、内部からは遊びや子どもなどが混ざり合い、関連し合う。
強い空間は、**環境に影響を受けず**、水回りや倉庫など使われ方が固定された空間である。

04 弱い空間が生み出す活動



弱い空間は、関わる人や遊びの内容などによって活動が変容する。そのため、他者との出会いの誘発に繋がり、**活動の幅を広げることが可能になる**。弱い空間としての普遍性を高めるため、なるべく単純化した空間設計を行う。

05 敷地から読み取れる手掛かり

空間を単純化するにあたり**ある程度意味を持った空間**を設計することにより空間同士に関連性を持たせる。

環境	意味を与える	手法番号
すき間	差をつける	1-3
	見通す	3-6
ボリューム	空間が連続する	7-15、20-22
川	人が流れる	13-19
	留まる	20-29、32、34
距離感	囲まれる	31-32
	近づける	33-34
高さ	分ける	21-22、27、29-30

06 弱い空間を表現する 34 個の設計手法

差をつける

- 1 高さの変わる天井
- 2 傾いた床
- 3 腰掛ける窓
- 4 ガラスの壁
- 5 飛び出す窓

空間が連続する

- 6 向こうの様子がわかる
- 7 上部のすきまから光
- 8 足元が見える
- 9 上下のつながり
- 10 空が少し見える
- 11 ランダムな配置

見通す

- 12 煙突のようなトップライト
- 13 橋の上
- 14 柱のまわり
- 15 くぐり抜ける
- 16 床の階段
- 17 回避する隙間
- 18 回避する壁
- 19 またくぐり

囲まれる

- 20 へこんだ壁
- 21 こもる場
- 22 し字の壁
- 23 植栽の中へ
- 24 階段の下
- 25 コの字壁
- 26 箱庭のような
- 27 背丈ほどの壁
- 28 挑戦したくなる石垣

近づける

- 29 すれ違う壁
- 30 幅の厚い壁
- 31 にじり口のように
- 32 壁のような屋根
- 33 机のような床
- 34 視線が合う



07 構成するための秩序

空間の要素が関連性を高めるようにルールを設ける。

ルール① 他者との遭遇率を上げるため、保育園の活動が**外部の人**に見えるようにする。

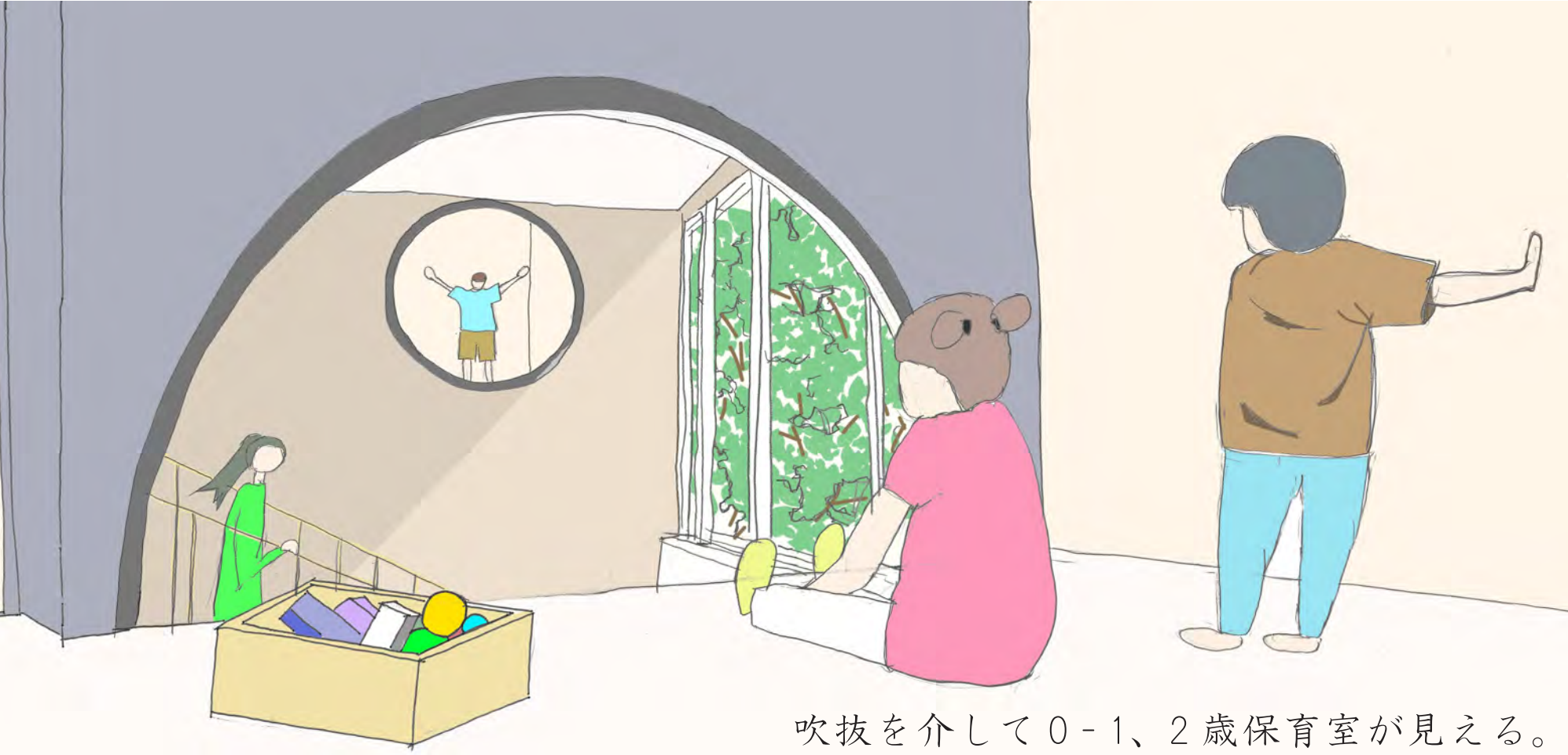
ルール② 外部環境を受け取りやすくするため、掃き出し窓を設ける場合、縁側を設け空間を繋げる。

ルール③ **強い空間の孤立化を防止**するため、外皮沿いを計画する。

ルール④ 園児が自分のいる場所を把握できるように、隣り合うボリュームの**外壁の色**を変える。

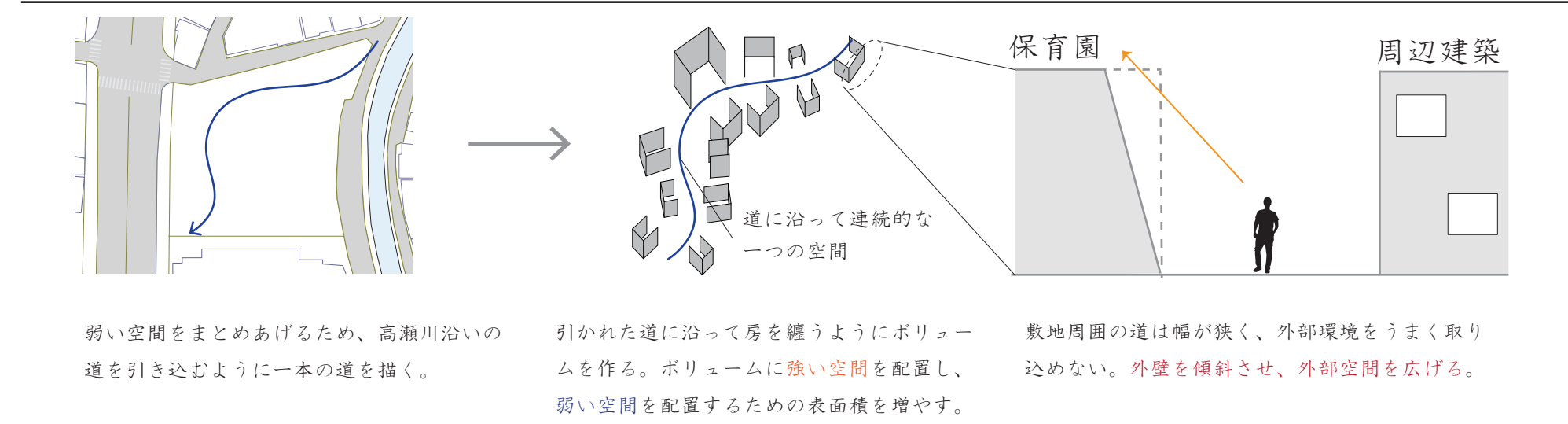
ルール⑤ 建物内で同じ景色が続かないよう、**最短距離の動線**を作らない。

ルール⑥ **弱い空間の配置数**を多くとるため**外壁の表面積**を増やす。



吹抜を介して0-1、2歳保育室が見える。

08 全体の成り立ち



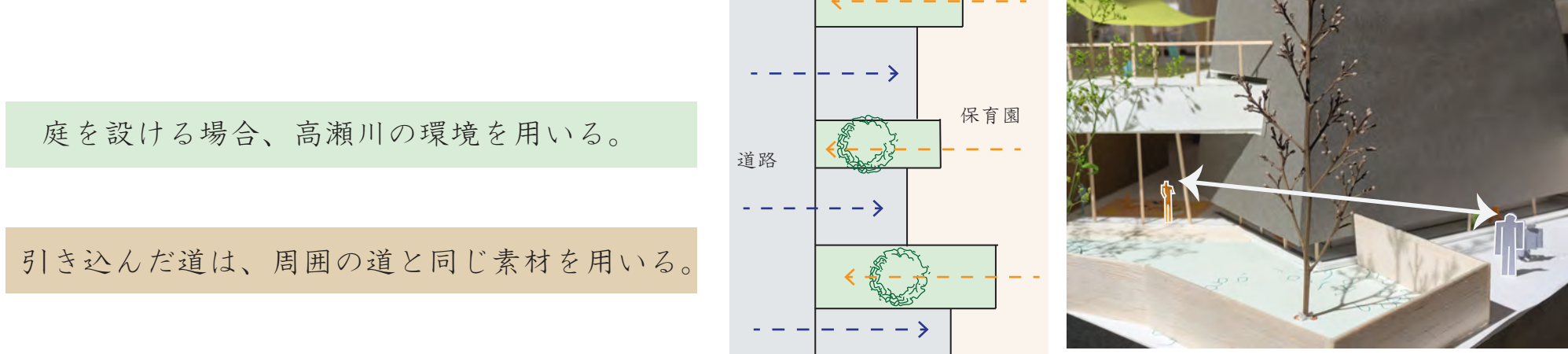
弱い空間をまとめあげるため、高瀬川沿いの道を引き込むように一本の道を描く。

引かれた道に沿って房を纏うようにボリュームを作る。ボリュームに強い空間を配置し、弱い空間を配置するための表面積を増やす。

敷地周囲の道は幅が狭く、外部環境をうまく取り込めない。外壁を傾斜させ、外部空間を広げる。

09 挟まる外部空間

保育園という性格上、誰でも園内に入れることはリスクが大きい。そのため、掃き出し窓があるところに庭を設け、接するように周囲の道を引き込み、挟み合うことで園児と他者の距離を近づける。

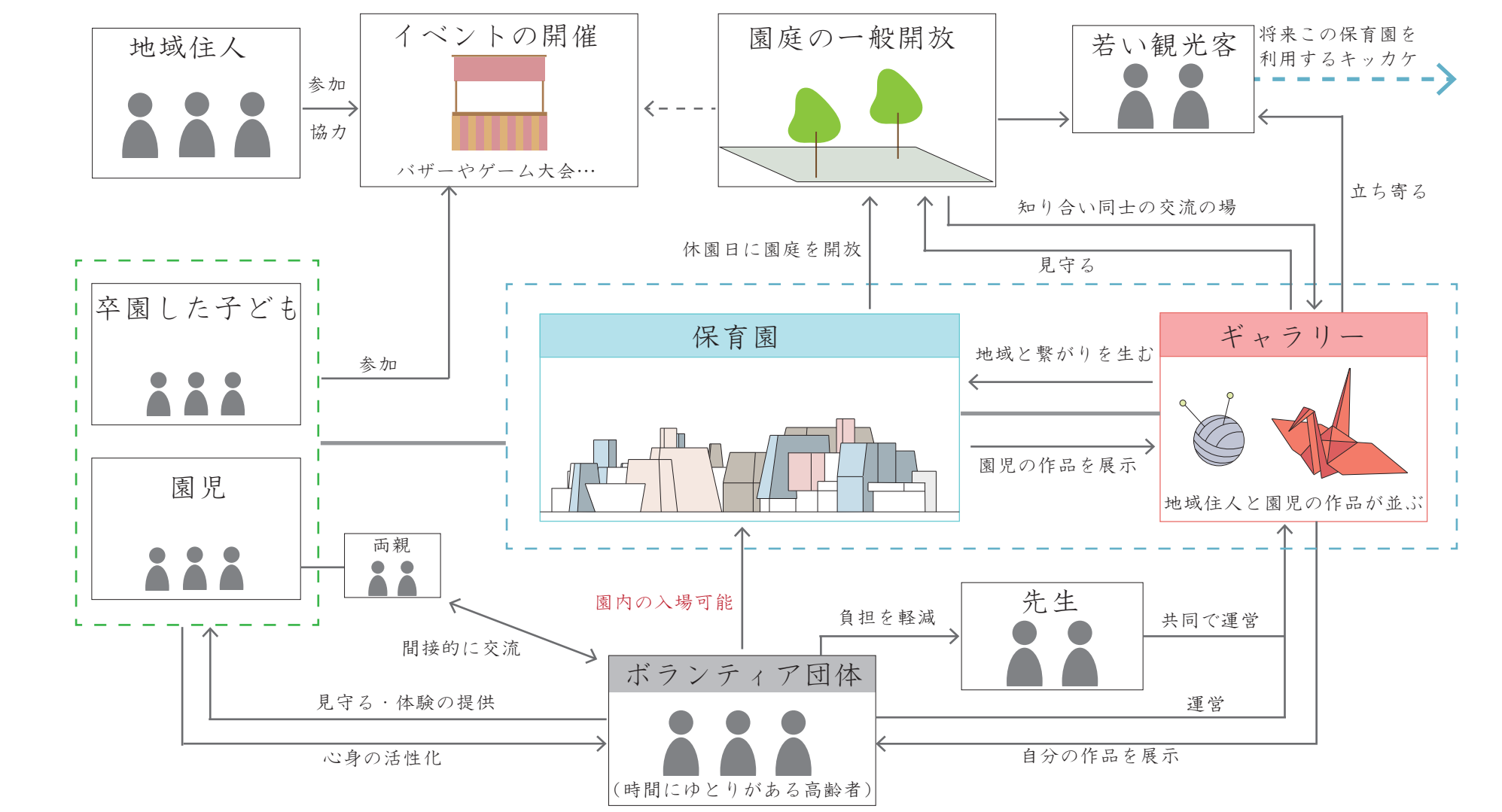


庭を設ける場合、高瀬川環境を用いる。

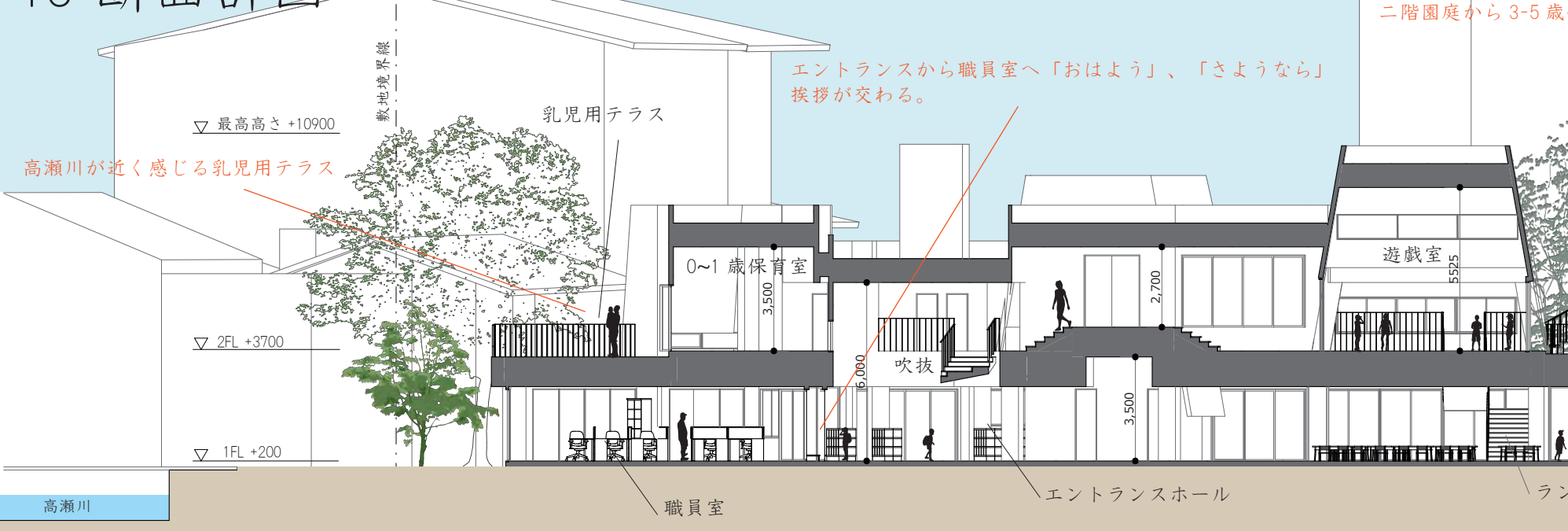
引き込んだ道は、周囲の道と同じ素材を用いる。

10 広がる保育園

保育園の中で完結するのではなく、ギャラリーや園庭を用いて外部との関係を繋いでゆく。



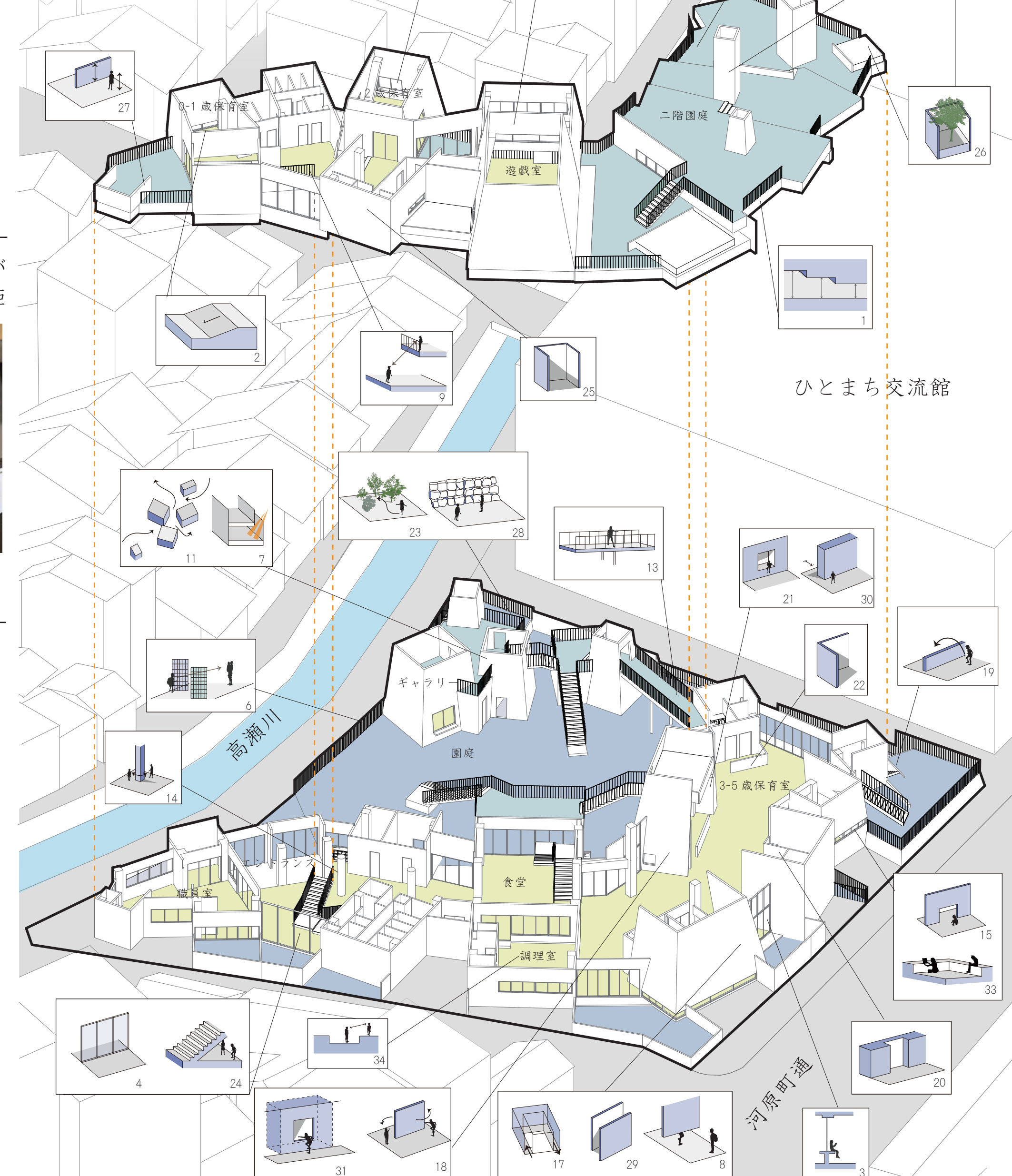
13 断面計画



エントランスホール。吹抜の下は通常時間中、大人の交流の場。

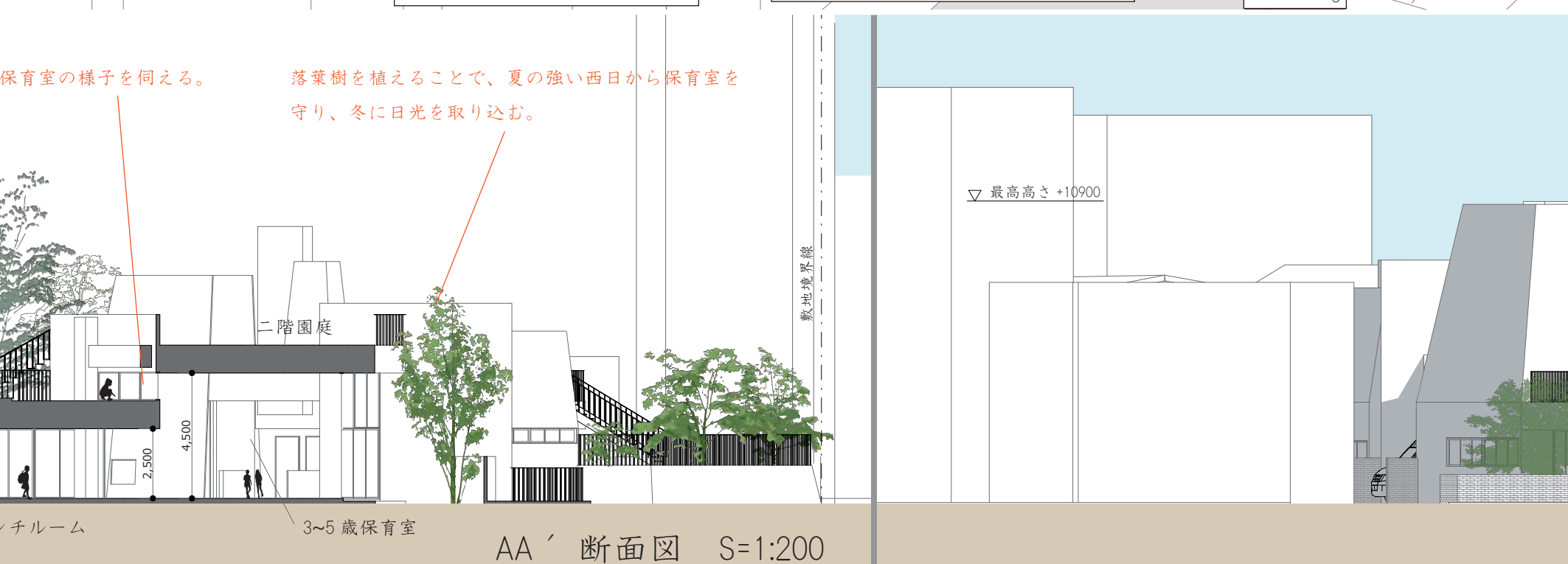
11 配置計画

外と中、室と室、敷地境界といった境目付近に弱い空間を配置する。



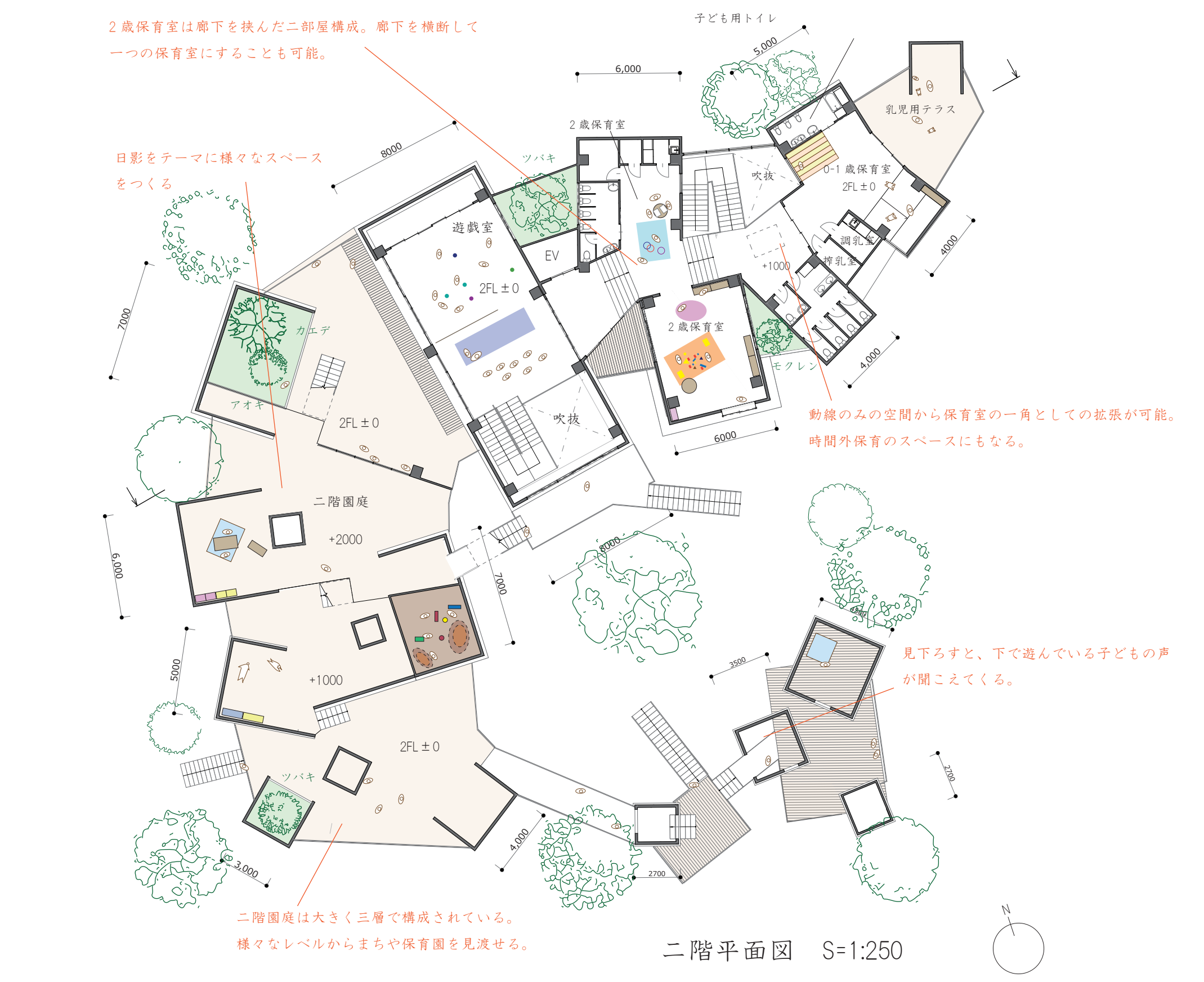
ひとまち交流館

河原町通



AA' 断面図 S=1:200

12 平面計画



二階平面図 S=1:250



配置図兼一階平面図 S=1:250



東立面図 S=1:200